

うじがみ遺跡ニュース vol.6

長野県埋蔵文化財センター

◆ 発掘作業は終盤ですが・・・

7月一杯で発掘作業を終了します。連日の雨で現場はご覧のとおり水没しています。今月は、丸一日作業ができたのは、たったの3日。今年の梅雨はもう少し続きそうです。

発掘作業が終了した遺跡は、工事によって失われてしまいますが、出土品は皆さんの財産として保存し、展示などに活用されます。また、発掘作業中に作成した記録（写真や図面など）も保存され、「発掘調査報告書」としてまとめられ、公開されます。現場事務所（旧おひさま保育園）では、そのための下準備（基礎整理作業）をおこなっています。今回は、そんな作業の一コマを紹介しましょう。



◆ 洗浄・注記作業

出土した土器などの遺物は、出土場所や年月日を記入したポリ袋に入れ、遺構ごとに箱へ収納して現場事務所に持ち帰ります。そして、遺物についた泥をブラシで洗い落とします。土器の破片は、ゴシゴシこすると傷めてしまうため、小刻みにトントントンとブラシの先を当てるように洗うのがコツなんです。



単純そうで
意外と
たいへんなのね

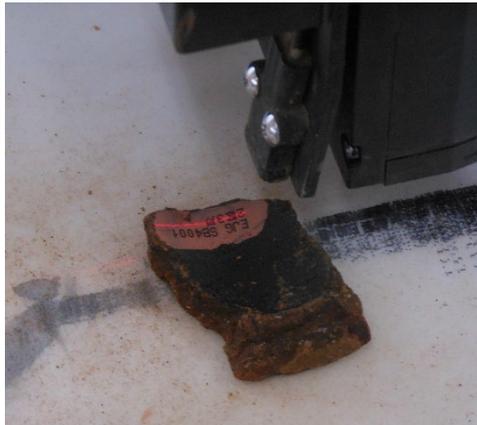




洗浄した遺物は、乾燥させて再びポリ袋等に収納し、台帳に登録します。そして、「注記マシン」という機械を使って、遺物一点一点に遺跡記号や出土遺構名等を、マーキングします。

左:ねじり鉢巻で「注記マシン」を操る

下:左から、下地に茶色のポスターカラーを塗り、注記マシンの台座を左右に動かすと「EJG SB4001」という注記記号がマーキングされる。最後にシーラーという透明の液体でコーティングして完成



◆土器の接合作業



遺物は一旦箱へ収納しますが、ここからが本格的な整理作業の始まりです。土器片を出土場所ごとに広げて、接合作業をおこないます。ジグソーパズルに似ていますが、すべてのパーツが必ずそろうわけではない点が、土器接合の難しいところです。



保育園で、みんな
十ニやってるだい



うじがみ遺跡ニュース 第6号 (令和2年7月30日発行)
長野県埋蔵文化財センター 〒388-8007 長野市篠ノ井布施高田 963-4

TEL 026-293-5926 HP : <http://naganomaibun.or.jp/> Email: info@naganomaibun.or.jp

発掘現場 : 080-9560-1354 (担当 : 村井大海・平林 彰)